

少しずつでも今後の自分に生かしていきたい

田嶋尚美

★今回のツアーで

私の当初の目的は、デンマークの高齢者住宅や施設を自分の目で見ることでした。

しかしツアーの最後には、文化というものは長い歴史はもちろん、社会政策と教育の積み重ねで出来上がってくるものなのだと、あらためて感じていました。また、教育と職業の連携が明確な理念となっていることに、生きていく力強さを感じました。

デンマークも課題は多いとのこと、日本にも良さや強みはありますが、現在の日本に不足しているものに気づかされたようです。

訪問した各々の場所では、椅子の座り心地良さを感じました。公園の何気ないベンチもなんだか体がラクなのです。人の体を大切に見るデンマークの家具を体感したことから福祉機器発達のベースを思い、また、人を国の資源として出生から老後までを大切にすお国柄までを感じました。またデンマークを訪問する際には、たくさんの椅子に座ってみたい、できればいくつか持ち帰りた（笑）と思っています。

★今日のデンマークを作ってきた世代

交流会では、私の片言の英語でお隣の Mogens さんとコミュニケーションがとれたことがとても嬉しかったです。88 歳とすることで、名刺に米寿と漢字で書き、日本ではお祝いすべき年齢だとお伝えしたらとても喜んでくださいました。

ベアナドッテゴードンはデンマークのセンスの良さと落ち着きが感じられる雰囲気の良い施設だなと明るい気持ちで進んでいくと、ホールのひとつに捕虜達の様子が描かれた一枚の大きな絵が。第二次大戦中レジ



<御年 88 歳の Mogens さんと>

スタンス運動に参加しドイツで捕虜生活をされた人達の老後のホームとして設立された、ということをやさしく思い出しました。穏やかに老後を暮らせるように配慮された空間なのだとあらためて思いました。

デンマークの国家を朗々と歌う Mogens さんに、今日のデンマークを作ってきた世代の誇り高さを感じました。

交流会でのオープンサンドは繊細で美しく、とても美味しいもので、おもてなしの気持ちを十二分に感じながらいただきました。

帰国後、夏代さん中能さんからいただいた資料やデンマーク関連の本を再び読んだ時、頭と心への沁み込み方が出発以前とは全く違うことに驚きました。短い日数ですがデンマークを経験した私へと変わったのです。

自分の感性や関心にもあらためて気付くことができましたので、少しずつでも今後の自分の仕事に生かしていきたいと思っています。

あらためましてツアーの皆様へ、今回のご縁に感謝致します。ありがとうございました。